

2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月14日

上場会社名 株式会社ネオジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3921 URL https://www.neo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 齋藤 晶議  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務担当 (氏名) 常盤 誠 (TEL) 045-640-5917  
 四半期報告書提出予定日 2021年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	2,842	8.4	641	12.6	723	23.5	493	24.1
2021年1月期第2四半期	2,621	—	569	—	585	—	397	—

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 519百万円(24.4%) 2021年1月期第2四半期 417百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	33.17	33.06
2021年1月期第2四半期	26.80	26.64

(注) 当社グループは2020年1月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年1月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	6,888	4,778	69.1
2021年1月期	6,742	4,431	65.6

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 4,762百万円 2021年1月期 4,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2022年1月期	—	0.00			
2022年1月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,717	7.4	948	3.0	980	3.3	679	0.3	45.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年1月期2Q	14,895,600株	2021年1月期	14,892,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	223株	2021年1月期	223株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年1月期2Q	14,891,995株	2021年1月期2Q	14,850,502株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、緊急事態宣言の再発出や適用地域の拡大など、依然として厳しい状況が継続いたしました。新型コロナウイルスワクチン接種の促進やワクチン接種が先行した諸外国経済の持ち直しが期待されるものの、感染収束の時期が依然として見通せず、先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループが属するIT業界におきましては、在宅勤務等のリモートワークの拡大、長期化がみられるなど、従来とは異なる働き方が広がってきており、このような環境下においても効率的に支障なく業務を遂行することを可能とするためのIT投資に対する関心は引き続き高い水準で推移していくものと考えております。

このような状況の中、2021年3月に昨年度リリースしたdesknet's NEOのスケジュールアプリのバージョンアップを実施したほか、2021年5月に自治体や金融機関などセキュリティ対策のためインターネットとは分離されたネットワーク環境で業務を行っている組織においても、外部と安全にコミュニケーションを行うことができる環境構築ができるようChatLuckの機能拡張を実施いたしました。また、2021年6月には、独立系データセンタープロバイダーである株式会社アイネットとの共同事業として、学校と保護者間での安心・安全・安価・シンプルなコミュニケーションツールとして「ChatLcuk SC」を開発提供いたしました。

また、2021年3月に「ペーパーレス化の推進と業務フローの見直し推進を図るとともに、チャットツールを組み合わせ、テレワーク実施時に業務改善がしやすいよう工夫が見える」ことなどが評価され、日本テレワーク協会「第21回テレワーク推進賞(テレワーク促進部門)」において「奨励賞」を受賞いたしました。2021年7月には、IT製品比較・レビューサイト「ITreview」が主催する「ITreview Grid Award 2021 Summer」においてグループウェアdesknet's NEOがグループウェア部門とワークフロー部門の「Leader」を、ビジネスチャットChatLuckがビジネスチャット部門の「High Performer」をそれぞれ受賞いたしました。

この他、前期まで非連結子会社でありましたDELGUI Inc.につきましては、当期より本格的に稼働を開始したことにより重要性が高まったこと、NEO THAI ASIA Co., Ltd.につきましては新規設立により、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,842,848千円(前年同期比8.4%増)、営業利益は641,590千円(前年同期比12.6%増)、経常利益は723,526千円(前年同期比23.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は493,969千円(前年同期比24.1%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

## (ソフトウェア事業)

売上区分別の状況は以下のとおりであります。

売上区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)		
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
クラウドサービス	1,015,826	59.8	1,162,184	62.5	14.4
プロダクト	650,880	38.3	666,855	35.8	2.5
技術開発	33,159	1.9	31,206	1.7	△5.9
合計	1,699,867	100.0	1,860,246	100.0	9.4

## ① クラウドサービス

クラウドサービスの主要サービス別の売上は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2021年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEOクラウド	818,988	976,544	157,555	19.2
AppSuiteクラウド	23,683	40,159	16,476	69.6
ChatLuckクラウド	28,019	29,357	1,337	4.8
その他月額売上	108,625	98,097	△10,528	△9.7
<b>月額売上合計</b>	<b>979,318</b>	<b>1,144,159</b>	<b>164,841</b>	<b>16.8</b>
その他役務作業等	36,508	18,025	△18,483	△50.6
<b>クラウドサービス合計</b>	<b>1,015,826</b>	<b>1,162,184</b>	<b>146,358</b>	<b>14.4</b>

クラウドにて提供する、desknet's NEOクラウドの利用ユーザー数が順調に推移したことにより、同サービスの売上高は前年同期比157,555千円増加し、976,544千円（前年同期比19.2%増）となりました。また、AppSuiteクラウドはクラウドサービス全体に占める売上の割合ははまだ小さいものの、前年同期と比較して16,476千円増加し、40,159千円（前年同期比69.6%増）と順調に利用ユーザー数が拡大しております。その他月額売上につきましては、主に主要サービス以外の個別案件の減少により前年同期と比較して10,528千円減少し98,097千円（前年同期比9.7%減）となりましたが、おおむね期初の想定どおりに推移しております。その他役務作業につきましては、主にASP事業者向けのカスタマイズが減少したことにより18,483千円減少し、18,025千円（前年同期比50.6%減）となりました。ASP事業者向けのカスタマイズの減少につきましても期初の想定どおりとなっております。

以上の結果、クラウドサービス全体での売上高は前年同期比146,358千円増加し、1,162,184千円（前年同期比14.4%増）となりました。

## ② プロダクト

プロダクトの主要サービス別の売上は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2021年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEOエンタープライズライセンス	99,162	97,957	△1,204	△1.2
desknet's NEOスモールライセンス	36,364	28,069	△8,294	△22.8
AppSuite	28,933	28,066	△866	△3.0
ChatLuck	22,145	21,012	△1,133	△5.1
その他ライセンス売上	3,432	23	△3,409	△99.3
<b>ライセンス売上合計</b>	<b>190,037</b>	<b>175,129</b>	<b>△14,908</b>	<b>△7.8</b>
サポートサービス	333,111	350,696	17,584	5.3
カスタマイズ	55,651	43,417	△12,233	△22.0
その他役務作業等	72,079	97,611	25,531	35.4
<b>プロダクト合計</b>	<b>650,880</b>	<b>666,855</b>	<b>15,974</b>	<b>2.5</b>

大規模ユーザー向けのdesknet's NEOエンタープライズライセンスにつきましては、第1四半期末時点では前年同期比39.7%減となっておりますが、当第2四半期連結累計期間においては前年同期比1.2%減の97,957千円とおおむね同水準の売上となりました。期初の計画を若干上回って推移しており、年度では当初の計画通り前年を上回る売上を見込んでおります。desknet's NEOエンタープライズライセンスにつきましては、大規模ユーザーの企業様等では運用人員を含めた環境が整っていることが多く、クラウドでの利用よりも大規模ユーザーになるほどユーザー単価面でのメリットが大きいことから、当面、desknet's NEOエンタープライズライセンスの需要が大きく減少することは想定しておらず、むしろ当社製品の強みが発揮できる領域であり、desknet's NEOクラウドとともに注力していくべきものと認識しております。

中小規模ユーザー向けのdesknet's NEOスモールライセンスにつきましては、クラウドサービスを選択されるお客様が増加傾向にあることから、売上高は前年同期比8,294千円減少し、28,069千円（前年同期比22.8%減）となりました。desknet's NEOスモールライセンスにつきましては、クラウドサービスの利用が一般化してきているため減少傾向にあると認識しております。

AppSuiteライセンスおよびChatLuckライセンスにつきましても、第1四半期末時点ではそれぞれ前年同期比52.2%減、71.5%減となっておりますが、これらのプロダクトについてはdesknet's NEOエンタープライズライセンスとの同時購入されることが多い傾向にあることから、desknet's NEOエンタープライズライセンスの売上とともに増加し、当第2四半期連結累計期間においては、AppSuiteライセンスが前年同期比3.0%減の28,066千円、ChatLuckライセンスが前年同期比5.1%減の21,012千円とおおむね同水準の売上となりました。

カスタマイズにつきましては、比較的規模の大きな案件の受注額が減少したことを主な要因として、売上高は前年同期比12,233千円減少し、43,417千円（前年同期比22.0%減）となりました。また、サポートサービスの売上高は、desknet's NEO（旧製品を含む）のサポートサービスの売上高が前年同期比10,013千円増加し、311,276千円（前年同期比3.3%増）となったことを主な要因として、17,584千円増加し、350,696千円（前年同期比5.3%増）となりました。

以上の結果、プロダクト全体での売上高は前年同期比15,974千円増加し、666,855千円（前年同期比2.5%増）となりました。

### ③ 技術開発

技術開発につきましては、積極的に受託開発を行う方針ではないことから、売上高は前年同期比1,953千円減少し、31,206千円（前年同期比5.9%減）となりました。

以上の結果、ソフトウェア事業の売上高は1,860,246千円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は614,739千円（前年同期比30.0%増）となりました。

### (システム開発サービス事業)

システム開発サービス事業は、子会社である株式会社Pro-SPIREが展開する事業で構成されており、同社が長年培ってきたクラウドインテグレーション、システムインテグレーションのノウハウを基礎に技術者の育成を図り、先端技術を活用し新たな顧客ニーズを満たすシステムエンジニアリングサービスを主に提供しております。

システム開発サービス事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務での対応が継続するなど環境の変化はあるものの、お客様のニーズに柔軟に対応し、売上高は当初の計画を上回って推移いたしました。一方で、利益面では、主に夏季・冬季賞与の配分割合の変更により上期における賞与引当金繰入額が増加したことを主な要因として、前年同期と比較して減少いたしました。

以上の結果、システム開発サービス事業の売上高は997,209千円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は49,725千円（前年同期比48.7%減）となりました。



## (海外事業)

海外事業は、海外子会社3社の事業で構成されており、現地企業向けにdesknet's NEOのライセンス販売、クラウドサービスの提供などを行っております。なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったDELGUI Inc.は重要性が増したため、NEO THAI ASIA Co., Ltd.は新規設立により、連結の範囲に含めております。

ASEAN地域においてはdesknet's NEOおよびAppSuiteを中心に販売活動を進めておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う活動制限令の発令などにより主にマレーシアでの営業活動が計画通りに進捗していないことなどにより、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向けの売上高は当初計画を下回って推移いたしました。なお、海外事業につきましては、当面投資が先行する計画であります。

以上の結果、海外事業の売上高は14,073千円、セグメント損失は22,309千円となりました。なお、海外事業につきましては、前第3四半期連結会計期間より新たに追加されたセグメントのため、前年同期との対比は行っていません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より145,255千円増加し、6,888,220千円となりました。これは主に、現金及び預金が139,795千円増加したことに加え、ソフトウェアの増加を主な要因として無形固定資産が74,630千円、債券(社債)の新規取得を主な要因として投資有価証券が134,168千円増加した一方で、債券(社債)取得に伴う外貨建MMFの解約を主な要因として有価証券が90,644千円減少したほか、前期まで非連結子会社であった子会社を新たに連結の範囲に含めたことを主な要因として投資その他の資産のその他が133,810千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より201,906千円減少し、2,109,950千円となりました。これは主に、前受収益が108,971千円増加した一方で、国内子会社における繰上げ返済により1年以内返済予定の長期借入金が44,487千円、長期借入金が43,972千円減少したこと、及び前第4四半期連結会計期間に実施した大型イベントの未払金の支払等により未払金が減少したことを主な要因として流動負債のその他が236,159千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より347,162千円増加し、4,778,269千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が493,969千円計上された一方で、163,809千円の剰余金の配当を実施したことなどにより、利益剰余金が313,916千円増加したことに加え、その他有価証券の時価評価の結果その他有価証券評価差額金が26,940千円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して56,318千円増加し、3,474,931千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は443,112千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上723,619千円、前受収益の増加108,971千円、及び減価償却費の計上78,995千円により資金が増加した一方で、未払金の減少201,913千円、及び法人税等の支払222,797千円により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は239,168千円となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入31,012千円により資金が増加した一方で、投資有価証券の取得による支出109,760千円、無形固定資産の取得による支出145,954千円より資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は244,808千円となりました。これは主に、配当金の支払163,624千円、及び長期借入金の返済による支出88,459千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年3月11日付「2021年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,385,232	3,525,028
売掛金	723,064	691,105
有価証券	265,221	174,576
仕掛品	8,011	10,902
貯蔵品	3,358	2,989
その他	74,589	114,406
貸倒引当金	△2,297	△2,397
流動資産合計	4,457,180	4,516,612
固定資産		
有形固定資産	56,143	67,039
無形固定資産		
のれん	119,871	112,955
その他	249,285	330,831
無形固定資産合計	369,156	443,786
投資その他の資産		
投資有価証券	1,229,383	1,363,551
その他	631,638	497,827
貸倒引当金	△537	△597
投資その他の資産合計	1,860,484	1,860,781
固定資産合計	2,285,784	2,371,607
資産合計	6,742,964	6,888,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	152,324	155,541
1年内返済予定の長期借入金	54,495	10,008
未払法人税等	235,587	244,697
賞与引当金	115,876	116,070
前受収益	570,201	679,172
その他	592,548	356,388
流動負債合計	1,721,032	1,561,878
固定負債		
長期借入金	46,434	2,462
退職給付に係る負債	313,120	321,514
その他	231,271	224,096
固定負債合計	590,825	548,072
負債合計	2,311,857	2,109,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,303	295,597
資本剰余金	331,587	331,881
利益剰余金	3,763,453	4,077,370
自己株式	△384	△384
株主資本合計	4,389,960	4,704,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,260	59,200
為替換算調整勘定	△1,962	△1,104
その他の包括利益累計額合計	30,298	58,096
非支配株主持分	10,847	15,708
純資産合計	4,431,107	4,778,269
負債純資産合計	6,742,964	6,888,220

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年7月31日)
売上高	2,621,542	2,842,848
売上原価	1,254,615	1,369,053
売上総利益	1,366,927	1,473,794
販売費及び一般管理費	797,079	832,204
営業利益	569,847	641,590
営業外収益		
受取利息	9,833	12,200
有価証券売却益	1,310	4,550
保険解約返戻金	—	60,326
その他	7,970	6,859
営業外収益合計	19,113	83,937
営業外費用		
支払利息	284	153
投資事業組合運用損	2,843	1,210
創立費	—	624
その他	66	12
営業外費用合計	3,194	2,000
経常利益	585,767	723,526
特別利益		
固定資産売却益	—	575
特別利益合計	—	575
特別損失		
投資有価証券償還損	499	482
投資有価証券評価損	197	—
特別損失合計	696	482
税金等調整前四半期純利益	585,070	723,619
法人税等	187,135	232,152
四半期純利益	397,935	491,467
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	397,935	493,969

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	397,935	491,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,562	26,940
為替換算調整勘定	—	937
その他の包括利益合計	19,562	27,877
四半期包括利益	417,497	519,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,497	521,767
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,422

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	585,070	723,619
減価償却費	63,532	78,995
のれん償却額	6,915	6,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45	160
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,893	194
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,323	8,394
受取利息及び受取配当金	△9,833	△12,200
支払利息	284	153
為替差損益(△は益)	—	△2,770
有価証券売却損益(△は益)	—	△4,550
投資事業組合運用損益(△は益)	2,843	1,210
投資有価証券評価損益(△は益)	197	—
投資有価証券償還損益(△は益)	499	482
固定資産除売却損益(△は益)	—	△575
保険解約返戻金	—	△60,326
売上債権の増減額(△は増加)	△44,370	31,954
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,763	△2,522
前払費用の増減額(△は増加)	△39,815	△42,211
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,574	3,217
前受金の増減額(△は減少)	△9,684	144
未払金の増減額(△は減少)	△47,753	△201,913
未払費用の増減額(△は減少)	5,702	871
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,233	△31,086
預り金の増減額(△は減少)	2,498	△544
前受収益の増減額(△は減少)	89,374	108,971
長期前受収益の増減額(△は減少)	30,076	△7,307
その他	5,176	8,819
小計	633,085	608,095
利息及び配当金の受取額	10,230	12,072
利息の支払額	△276	△48
法人税等の支払額	△186,807	△222,797
保険解約返戻金の受取額	—	45,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	456,231	443,112
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,914	△15,878
有形固定資産の売却による収入	—	575
無形固定資産の取得による支出	△60,524	△145,954
投資有価証券の取得による支出	△119,117	△109,760
投資有価証券の償還による収入	106,530	12,932
関係会社株式の取得による支出	△37,945	—
投資事業組合からの分配による収入	—	4,000
長期前払費用の取得による支出	△2,768	△6,906
定期預金の預入による支出	△5,402	△5,400
定期預金の払戻による収入	1,000	—
貸付金の回収による収入	—	4,320
敷金及び保証金の差入による支出	—	△858
敷金及び保証金の回収による収入	—	64
保険積立金の積立による支出	△7,643	△7,315
保険積立金の払戻による収入	1,027	31,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,757	△239,168

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△27,660	△88,459
株式の発行による収入	1,564	586
非支配株主からの払込みによる収入	—	7,282
自己株式の取得による支出	△111	—
配当金の支払額	△111,276	△163,624
リース債務の返済による支出	—	△594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,482	△244,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	18,992
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188,862	△21,871
現金及び現金同等物の期首残高	2,804,969	3,418,613
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	78,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,993,831	3,474,931

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったDELGUI Inc. は重要性が増したため、NEO THAI ASIA Co., Ltd. は新規設立により、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,699,680	921,861	2,621,542	—	2,621,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	186	11,217	11,403	△11,403	—
計	1,699,867	933,079	2,632,946	△11,403	2,621,542
セグメント利益	472,983	96,864	569,847	—	569,847

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。



## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,859,325	982,809	712	2,842,848	—	2,842,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	921	14,400	13,360	28,681	△28,681	—
計	1,860,246	997,209	14,073	2,871,530	△28,681	2,842,848
セグメント利益又は セグメント損失(△)	614,739	49,725	△22,309	642,154	△564	641,590

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△564千円はセグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。